

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOU FIRST志真志		
○保護者評価実施期間	2026年2月11日		2026年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 36	(回答者数) 26	
○従業者評価実施期間	2026年2月11日		2026年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数) 7	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や発達に応じた支援を行うよう努めている点	個別支援計画に基づき、5領域・家族支援・移行支援を意識しながら療育を行っている	支援内容や安全管理の説明を分かりやすくする
2	保護者との情報共有に配慮し、安心して通所できる環境づくりに取り組んでいる点	視覚的に分かりやすい環境設定や子どもが安心して活動できる場を整えている	地域交流やきょうだい支援、保護者同士の交流を増やす
3	行事や体験活動を取り入れ、柔軟で楽しめるプログラム運営を意識している点	送迎時や面談で丁寧に情報共有し、家庭との連携に努めている	連絡方法や情報提供の方法を見直し、より安心して利用していただける体制を整える

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や安全管理について、保護者への説明が十分に伝わり切っていない場合がある	支援内容や安全管理の説明は資料や面談で行っているが、情報量が多く理解が追いつきにくい	日常の記録や送迎時の会話で、必要なポイントを簡単に伝える工夫をする
2	地域交流やきょうだい支援、保護者同士の交流の機会が十分ではない	地域活動や交流の企画は行っているが、人数や日程調整などの制約がある	地域交流や保護者交流の機会を段階的に増やす
3	連絡手段の運用により、一部の保護者に負担や抵抗感を感じさせてしまう場合がある	事業所のやり取り用LINEだけでなく、毎月の会社アンケートのために別LINE登録をお願いしたことがあり、強制的に感じられた保護者もいた	現場としては、保護者に負担や抵抗感があることを理解しつつ、丁寧に案内し、安心して参加できるよう配慮する